

Y18c Space Weather Forecasting Contest に参加して

佐藤有樹、出口辰哉、三宅互（東海大学）

Space Weather Forecasting Contest は米国の George Mason 大学によって2009年度から実施されている、誰でもが参加できる宇宙天気予報に関するコンテストである。2年目にあたる2010年度に、東海大学の当研究室は初めて参加をしてみた。公的機関（日本の（独）情報通信研究機構など）による宇宙環境の情報サービスはあるが、一般を対象としたこのような取組みはユニークである。

本年度のコンテストは10月4日に始まり、感謝祭と冬季休暇の休止をはさんで、4月8日まで、20週にわたり行われている。1週のうち、月曜日から金曜日までの間、翌日の太陽風最大速度、最大 Kp 指数（地磁気擾乱指数）、静止軌道上の 2MeV 電子平均フラックスの3つのパラメータの予測をする。3つの予測値は、23:59:59(UT)までにWEB上のサイトに投稿する。実測値との差に対してエラーポイントが付き、この合計点が最も少ないものが優勝となる。

当研究室では、学部の卒業研究として2名（著者の佐藤と出口）で分担して予測を行い、その予測精度の向上を課題としてきた。12月11日から1月23日までは、コンテストは冬季休暇の休止期間となっており、この間にそれまでの9週について、解析を行い、今後への改善案をまとめる予定である。日本からの参加者が年々増えることを期待して、本コンテストの概要と当研究室の取組みについて紹介をしたい。